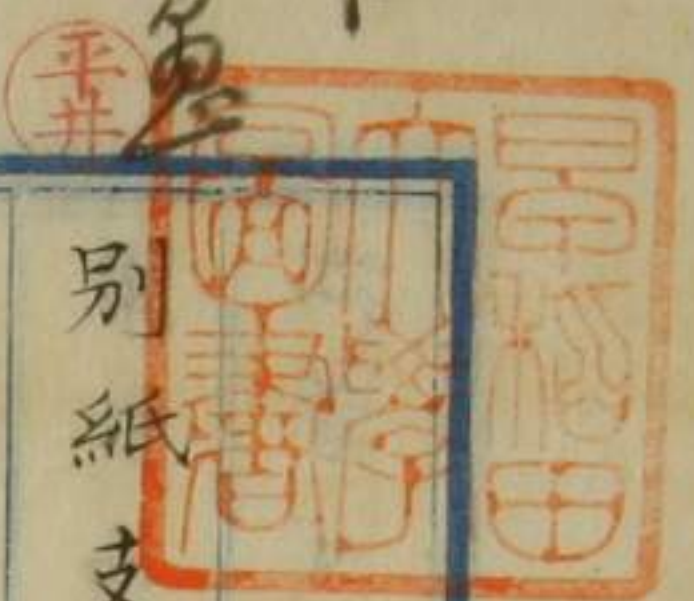


114  
A 186

長官



別紙支那講和ノ新報只今回リ来リ候間供尊覽  
 候右ハ拙者今早朝或ル外國公使ヨリ兼リ候儀  
 ト同様ニ付極メテ實事ト被存候又右ニ付而ハ  
 昨朝差上候新聞モ全ク確實ナルノ様ニ存候  
 右新報ノ如クニテハ大日本國ノ聲名ヲ起サス  
 シテ談判全ク決定候儀ニ付拙者兄弟ニ於テモ  
 大慶不遇之大久保公閣下ノ御盡力全ク成就致  
 候段大隈公閣下ニモ定テ御満足ニ可有之拙者  
 共祝賀スル処ニ御座候

審也事務局

大正十一年四月  
大隈侯爵郵寄贈



右ニ付而ハ最早甲鏡船モ御不用ト被存候拙者  
共ニ於テハ右甲鏡船一件ニ付ハ夥方ノ世話料  
ヲ受取り儀ニ付遺憾ト思ハサルニハ無之候得  
共左様ノ事ニ而夥多ノ御入費ヲ御散シ被成候  
ハ御國ノ為メ決シテ良策ニ無之候

右新聞ニ付而ハ吉田新田一条モ至極都合宜敷  
相成申候ト相考候大隈公ニモ是迄ハ支那トノ  
紛議未決ニ付暫ク御猶豫被成候得共前件ノ新  
聞ニ而ハ最早御着手相成候儀ト推察仕候昨日  
拙者ビシハム氏ヨリ羨リ候ニ同氏此程岩倉公

ニ謁シ御懇篤ノ御待遇ヲ受ケ候由且右支那ヨ  
リ良キ新聞来着ニ付御同人ヨリ拙者共止善キ  
御回答被下候訳ニ相成候ハ、大慶ニ御座候ビ  
シハム氏未夕寺嶋公ニ謁セス何レ一兩日中ニ  
謁見スベシトノ趣ニ有之候早々敬白

一千八百七十四年

十一月八日

シヨニジシウヲルシ

平井君

貴下

番地事務局

日本支那講和新聞

土曜 日午後第九時三十分電報

一 即今到着セシ電報ニ曰ク談判再々始マリ臺灣一茶全ク決議セリ支那ヨリ日本へ五十萬テ  
ルノ金額ヲ拂フベシトナリ

